

ハートレター

第 118 号

2023 年 1 月 5 日

発行: 社会福祉法人 絆の会

発行責任者: 太田 廣美

事務局所在地:

長野市若里 3-14-23

TEL 026-226-6045

FAX 026-262-1262

houjin@kizuna-nagano.or.jp

http://www.kizuna-nagano.or.jp/



2Pからの内容

2P 第12回絆フェスタ開催

5P //

3P・2022年度 精神障害者地域移行支援関係者研修会の報告「講演 江間由紀夫先生」と「シンポジウム」

4P・絆の会家族会定例研修会

・職員全体研修「国連障害者の権利条約総括所見について」に参加して

6P・きょうされん第46次国会請願署名・募金運動始まります。

・助成金を頂き、リアン若里の屋根の修繕を行いました。

・メンバーの活躍あれこれ

・インフォメーション

絆の会法人化 20 周年(りんどう会通算 35 周年)目の新年を迎えて

世界が平和で喜びを分かち合える日を・・・

理事長 太田 廣美

明けましておめでとうございます。皆様はどんな新年を迎えられたでしょうか。

私の住む白馬村は雪景色の中のお正月となりました。

いつもと違うのは、日本の現状と世界の情勢に私たちは何と困難な時代を迎えてしまったのだろう！と不安な気持ちで新年を迎えたことです。コロナ禍は世界的には落ち着きを取り戻しつつありますが、日本ではマスク着用や手指の消毒、換気、黙食は続き…私も先日 5 回目のワクチン接種を受けました。まだ感染者数の高止まりが続いています。そしてロシアのウクライナ侵攻は終息の気配すら見えず、生きるために必要なインフラを破壊されたウクライナの人々は、この厳冬期をミサイルで死ぬか冬の寒さで死ぬかという状況下で過ごしています。今年の世相を表す漢字の一字は「戦」でした。さらに戦後 77 年を経て、日本の安全保障政策が大きく変わろうとしています。防衛力強化のための防衛増税が、何にどう使うか議論もされず『反撃能力の保有』という言葉とともに先行し、『専守防衛』という言葉で育ってきた私を困惑させます。

心が重くなりがちそんな時に、テレビ番組で「一万人の第九」を聴きました。ベートーヴェンの交響曲第9番の第4楽章「歓喜の歌」が、会場の 2,000 人とリモートでつながれた園児から高齢者まで全国の参加者によって歌い上げられました。原詩はドイツ語ですが、「喜びの歌」として子供の頃から耳に馴染んだメロディーです。画面には“優しい翼に抱かれ、全ての人は兄弟になる 抱き合おう、世界中の人々よ ロづけを万人にささげよう”の訳詞が流れ、思わずメモを取りました。繰り返します。“全ての人は兄弟になる 抱き合おう、世界中の人々よ…”胸にしみる言葉でした。さらにベートーヴェンの音楽には、意志的で力強い音が響き、弱った心をまた頑張ってみよう！と奮い立たせる力があるように思います。調べてみると、「歓喜の歌」は、本来、“自由”を喜び“平等”を歌う歌詞で書かれ、ベルリンの壁崩壊後の 1989 年のクリスマスにレナード・バーンスタイン指揮によって、歌詞を“Freude”(喜び)ではなく、“Freiheit”(自由)に置き換えて 6 か国の奏者で構成されたオーケストラで演奏されたそうです。今では EU(欧州連合)の歌になっており、国境を越えて心を合わせて歌える歌です。あらためて一刻も早く世界が平和で喜びを分かち合える日が来るよう祈りたいと思います。

さて、2023 年、絆の会は法人化 20 周年(りんどう会通算 35 周年)という大きな節目を迎えます。当事者の皆さん、ご家族・ボランティアの皆さん、職員みんな、また一つあゆみを積み重ねましょう。

本年もよろしくお願ひいたします。